



『時間最短化、 成果最大化の法則』

木下 勝寿(著)
ダイヤモンド社
(2022/11)
1,760円

高収益経営の経営者が、どんな思考回路で考えて、行動しているのか？を45の法則で解説。

【感想】

「市場が評価した経営者ランキング 2019」1位、「アジアの優良中小企業ベスト 200」4度受賞たった一人で資本金1万円で創業し、15年で東証一部に上場させた(株)北の達人コーポレーション(健康食品、化粧品の製造販売)の代表者が明かす「最短時間で最大の成果を上げる方法」

従業員一人当たり利益 2332 万円、営業利益率 29%の秘密を公開した「売上最小化、利益最大化の法則」では高収益のための経営を紹介していますが、今回の著書では、成果を出す経営者としての思考・行動原則を惜しみなく書いています。

実感しやすいから達成できる『日付の数値化の法則』、物事を実現する考え方『原因解消思考と最終目的逆算思考の法則』、『ゴールがあるからゴールする法則』、自動的に味方が増えていく『タワーマンションの挨拶の法則』など45の法則をインストールして、思考を書き換えていくことで、成果の出やすい体質になっていける予感がする素晴らしい一冊です。

【以下引用】

・成果＝スキル×思考アルゴリズム(考え方のクセ)

スキルはどれだけ磨いても、新人とベテランで「1:3」と3倍くらいしか差はつかない。

ベテラン: スキル3×思考アルゴリズム1＝成果3

成果を上げ続ける人: スキル3×思考アルゴリズム50＝成果150

・行動量が10倍アップする『ピッパの法則』

ピッと思いついたらパッとやるんだ。簡単なものはパッと実行！ そうでないものは「いつやるか」パッとすぐ決め、スケジュール帳に書き込む。すると、1日10個アイデアが思いついたら、10個全部実行できるようになった。

・成功する人は必ず知っている『10回に1回の法則』

世の中は「10回本気でやれば、誰でも1回成功するようにできている」 成功したければ必ず10回やること。そのために、「最初の9回は必ず失敗する心構え」「10回やる前提でのスケジュール」「10回実験する前提での資金配分」でやることだ。そうすれば、あなたは必ず成功する。

・他人を簡単に出し抜ける方法『めんどくさければGO!の法則』

成果を上げる人は、常に他人にはできないことを探す「思考アルゴリズム」を持っている。

「他人にはできないこと」というと、「難易度が高いこと」を思うかもしれない。だが、もう一つ、「他人にはできないこと」がある。「めんどくさいこと」だ。

こちらの著書は、「スキル・やり方」ではなく「思考習慣・行動習慣」なので、新人、中堅、ベテラン、管理職、経営者など全ての人に役立つ内容です。